

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1025 号	氏名	西郷 達雄
学位審査委員	主査 中尾 一彦 副査 前田 隆浩 副査 中根 秀之		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、消化管症状に対する不安 (Gastrointestinal-symptoms specific anxiety :GSA) の尺度である Visceral sensitivity index (VSI) を用い、GSA と過敏性腸症候群 (Irritable bowel syndrome :IBS) の保有リスクや重症度との関連を検討しており、目的は妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>大学生 1156 名を対象に質問票による調査を行い、Rome III 診断基準により IBS を診断し、IBS 保有に対する VSI のカットオフ値 (High GSA / Low GSA) を求め、さらに IBS-severity index (IBS-SI) による IBS 重症度と High GSA の関連を検討しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>対象者の IBS 保有率は 21%であり、VSI16 点以上の High GSA 者は Low GSA 者に比して有意に IBS 保有率が高く、IBS 重症度と有意な関連を示した。本研究により、IBS 病態における GSA の関与が明らかとなり、今後、IBS に対する心理療法プログラム開発への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は過敏性腸症候群の病態研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			